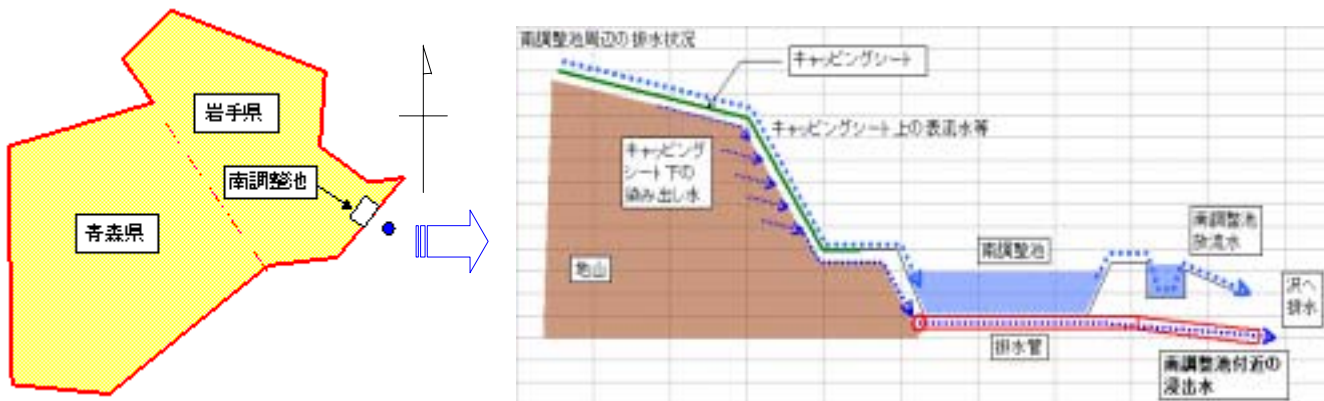


県境不法投棄現場浸出水からの水銀の検出について

5～6月に実施した水質関係周辺環境モニタリングにおいて、現場周辺の浸出水から水銀が検出されましたので、その概要についてお知らせします。

1) 検出状況

検出場所 南調整池付近の浸出水（左下図の青丸がその位置。右はその断面図。）



検出量 0.0008mg/L（環境基準 0.0005mg/L）

周辺環境への影響

県境現場では場内から放流する水質の管理に環境基準を準用していますが、今回検出された値は、河川等に排出される工場排水等に適用される基準の約 1/6 の濃度であること、浸出水からの検出が初めてであること、周辺の沢や底質からの検出がないことから、周辺環境に影響は及んでいないものと考えられます。

2) 今後の対応

現在のところ、原因は特定できていませんが、浸出水の放流を止め、場内で全量回収した浸出水は既設の水処理施設で処理し、水銀濃度を環境基準値以下にした上で再利用又は放流しています。

昨年度から隣接地において廃棄物撤去作業を行っていることから、この影響を含め原因を究明し、その結果をもとに対応を検討していきます。

なお、浸出水の水銀濃度については、毎月測定を実施し、その推移を監視していきます。

第 42 回原状回復対策協議会を開催します。

どなたでも傍聴できますので、ご来場をお待ちしております。

日時 平成 22 年 7 月 24 日（土）午後 2 時 15 分

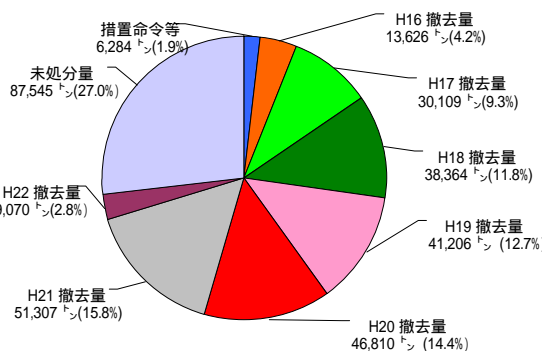
場所 二戸地区合同庁舎 1 階 大会議室（二戸市石切所字荷渡 6-3）

廃棄物の撤去状況について（平成 22 年 6 月末現在）

表：22年度の月別撤去量

	撤去量(トン)
22年4月	538
22年5月	2,929
22年6月	5,603
合計	9,070

平成22年度撤去目標 48,000トン



6 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、236,776 トン（73%）を撤去しました。